

日暮里地域周辺における公共施設等の 順次更新に関する説明会

平成29年4月23日(日)9時30分～
諏訪台中学校 地下 多目的室

説明会次第

- 1 日暮里地域周辺における公共施設の課題等について（総務企画課）
- 2 質疑応答

【配付資料】

- <資料 1> 日暮里地域周辺における公共施設の課題
- <資料 2> 日暮里地域の待機児童の状況と対策
- <資料 3> 区が検討した公共施設の順次更新案
- <資料 4> これまでに住民の方々からご意見のあった整備案
- <資料 5> これまでに住民の方々からいただいたご意見への回答
- <参考資料> 日暮里地域周辺における公共施設等順次更新のスケジュール

日暮里地域周辺における公共施設の課題

施設名	課題
地域全体	<ul style="list-style-type: none"> ・ これまで様々な用地情報をもとに日暮里地域周辺における公共施設等の整備検討をしてきたが、施設を新たに建設するための用地確保が難しい。 ・ 日暮里地域は、区内で最も待機児童数が多い（平成28年4月1日現在、67人。区内全体は164人）地域となっている。 ・ 区内では、公園・児童遊園の数が多いとは言えず、日暮里地域においても同様の状況にある。
日暮里ひろば館	<ul style="list-style-type: none"> ・ 昭和38年に建設され（築53年）老朽化が進んでいる。 ・ ふれあい館整備ニュープランに基づき、既に、区内に13館（残り7館）のふれあい館建設が終了している。区としては、日暮里ふれあい館の早期整備に向け、用地確保に努めてきたが、同地域において確保が困難な状況にある。 ・ 地域から日暮里ふれあい館の早期建設を望む声をたくさん頂いている。
東日暮里保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・ 昭和42年に建設され（築49年）老朽化が進んでいる。 ・ 敷地内に建設したプレハブについても、老朽化が進んでいる。 ・ 後から土地を買い足して増築するなどしているため、土地の有効利用がなされていない。 ・ 日暮里地域において、本計画以外で、さらに29年度に1か所、30年度に1か所の保育園の開設が予定されているが、それらを整備しても待機児童が解消できない。
ピアホーム西日暮里	<ul style="list-style-type: none"> ・ 昭和46年に建設され（築45年）老朽化が進んでいる。 ・ バリアフリー化がされていないことから、今後継続して使用するためには、多額な改修経費が必要となる。 ・ 今後増加が見込まれる知的障がい者が、地域で生活していくための拠点となるグループホームの整備が求められている。

日暮里地域の待機児童の状況と対策

1 日暮里地域の待機児童

- ・ 28年4月時点で、区内でも最も待機児童が多い地域は、日暮里地域となっており、その数は67人となっており、区内全体(164人)の約4割を占めている。
- ・ これまでの推移をみると、26年4月において待機児童ゼロとなったが、その後急増している。
- ・ また、認可保育園に入園できない「不承諾者数」を見ると、区内全体で406人おり、うち日暮里地域では123人となっている。区内全体の約3割となっている。

表 待機児童と入園不承諾者数の推移

	H24	H25	H26	H27	H28
待機児童数	46	37	8	48	164
(うち日暮里地域)	15	6	0	11	67
入園不承諾者数	347	278	219	303	406
(うち日暮里地域)	75	72	71	90	123

2 日暮里地域における待機児童対策

- ・ 増加する保育需要に対応するため、日暮里地域において、下記のとおり新たな保育施設の整備を行い、保育定員の拡大に努めてきた。

【認可・小規模保育事業】

24年4月 私立グローバルキッズ日暮里駅前保育園【定員50人】

25年4月 区立夕やけこやけ保育園【定員160人】

26年4月 私立ういず東日暮里保育園【定員72人】

7月 私立グローバルキッズ東日暮里【定員80人】

27年4月 私立ポポラー東京東日暮里園【定員63人】

27年11月 私立あい・あい保育園新三河島園【定員90人】

28年7月 私立かんかんもり保育園(小規模保育事業)【定員12人】

29年4月 私立東日暮里わんぱく保育園【定員102人】

【グループ型家庭的保育】

26年1月 フレンズ保育室【定員15人】

25年4月 ハローフレンズ保育室【定員13人】

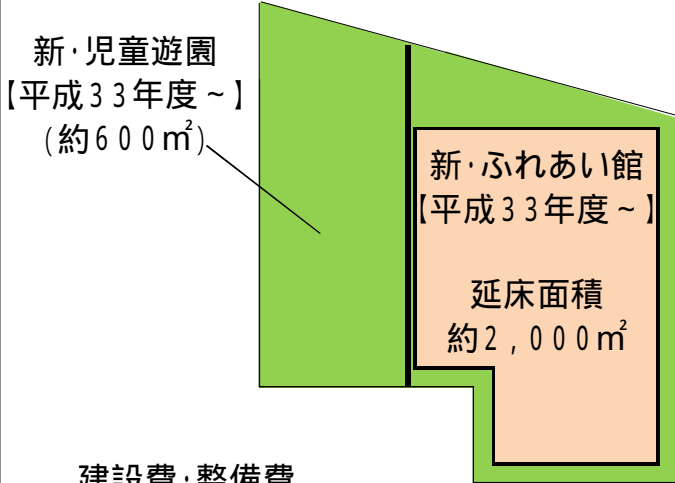
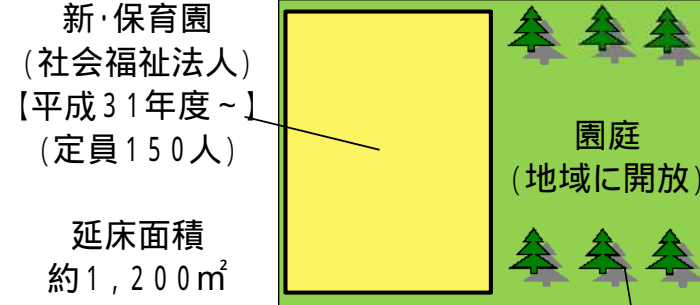
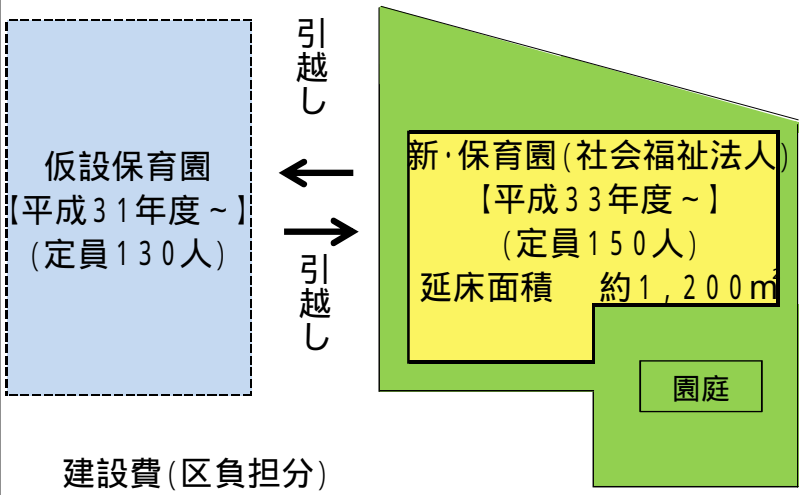
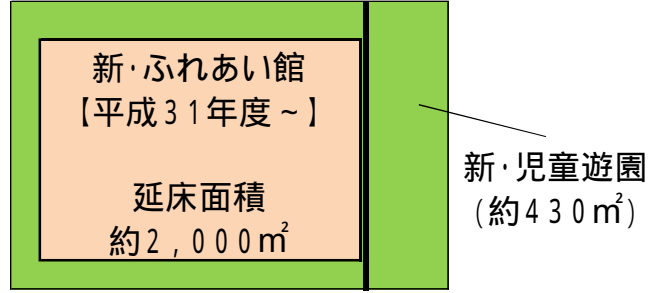
24年度以降5年間で認可保育園等10園を整備し、657人の定員拡大

3 今後の日暮里地域の対策

29年10月 西日暮里2丁目に認可保育園開設【定員50人】

30年 4月 西日暮里6丁目(荒川税務署隣接地)に認可保育園開設【定員102人】

30年4月までに 保育定員をさらに152人拡大

	現・東日暮里保育園(1,556㎡)	現・ピアホーム、西日暮里二丁目北児童遊園(1,384㎡)	区負担額 (概算)	備考
今回の 区の計画案	 <p>新・児童遊園 【平成33年度～】 (約600㎡)</p> <p>新・ふれあい館 【平成33年度～】 延床面積 約2,000㎡</p> <p>建設費・整備費 ・ふれあい館 約10億円 ・児童遊園 約3千万円</p>	 <p>新・保育園 (社会福祉法人) 【平成31年度～】 (定員150人)</p> <p>延床面積 約1,200㎡</p> <p>園庭 (地域に開放)</p> <p>できる限り 木を残す</p> <p>建設費(区負担分) ・新・保育園 約8千万円</p>	約11億円	<p>保育園の引越しが一度で済むため、園児や保護者の負担を軽減できる。</p> <p>保育園の定員拡大が早期にできる。 (平成31年度～)</p> <p>仮設園舎の建設が不要になる。</p> <p>児童遊園を平成33年度には確保することができる。</p> <p>児童遊園を一時的に廃止する期間が生じる。</p>
保育園 現地建替え案	 <p>仮設保育園 【平成31年度～】 (定員130人)</p> <p>新・保育園(社会福祉法人) 【平成33年度～】 (定員150人) 延床面積 約1,200㎡</p> <p>園庭</p> <p>引越し ← → 引越し</p> <p>建設費(区負担分) ・仮設保育園 約4億円 ・新・保育園 約8千万円</p>	 <p>新・ふれあい館 【平成31年度～】 延床面積 約2,000㎡</p> <p>新・児童遊園 (約430㎡)</p> <p>建設費・整備費 ・ふれあい館 約10億円 ・児童遊園 約3千万円</p>	約15億円	<p>仮設園舎を建設する場所の確保が難しい。</p> <p>仮設園舎を建設するため、上記区の計画案に比べて約4億円多くかかる。</p> <p>保育園の引越しが二度になるため、園児や保護者の負担が増える。</p> <p>保育園の定員拡大が2年以上遅くなる。 (平成33年度～)</p> <p>現在の児童遊園の面積(約900㎡)が1/2程度に減少する。</p>

これまでに住民の方々からご意見のあった整備案

	現・東日暮里保育園(1,556㎡)	現・ピアホーム、西日暮里二丁目北児童遊園(1,384㎡)	備考
<p>保育園を現地建替え + ふれあい館との合築 + 児童遊園を維持</p>	<p>仮設保育園【平成31年度～】(定員130人)</p> <p>新・保育園(社会福祉法人)【平成33年度～】(定員60人) 延床面積 約500㎡</p> <p>新・ふれあい館【平成33年度～】 延床面積 約2,000㎡</p>	<p>新・保育園(社会福祉法人)【平成31年度～】(定員70人) 延床面積 約600㎡</p> <p>児童遊園(約900㎡)</p>	<p>仮設園舎を建設する場所の確保が難しい。</p> <p>仮設園舎を建設するため、区の計画案と比べて約4億円の費用が多くかかる。</p> <p>保育園の引越しが二度になるため、園児や保護者の負担が増える。</p> <p>既設の保育園を2つに分けることは、人件費・コストが割高であり、また園児への影響も大きい。</p> <p>保育園の定員拡大ができない。</p>
<p>保育園を現地建替え + 児童遊園を維持</p>	<p>仮設保育園【平成31年度～】(定員130人)</p> <p>新・保育園(社会福祉法人)【平成33年度～】(定員150人) 延床面積 約1,200㎡</p> <p>園庭</p>	<p>新・保育園(社会福祉法人)【平成31年度～】(定員70人) 延床面積 約600㎡</p> <p>児童遊園(約900㎡)</p>	<p>地域から早期開設を望まれている日暮里ふれあい館が建設できない。</p>
	ふれあい館整備候補場所		
	ご意見いただいた場所	区の考え方	
	いなげやの屋上	<ul style="list-style-type: none"> ・民間の所有物であり、契約関係や工事期間中の営業の継続から考え、実現はきわめて困難である ・屋上にふれあい館を建設することは技術的にきわめて難しい 	
	三河島駅前北地区再開発	<ul style="list-style-type: none"> ・地元の意見も踏まえ、体育館(イベントスペースとしても利用可)の整備を検討している ・日暮里ふれあい館は早期開設を要望されているが、再開発事業の竣工は最短でも平成36年度以降になるため、開設時期が区計画案よりも大幅に遅くなり、住民の期待に応えられない ・日暮里ひろば館と直線距離で約540mあり、地域的にもバランスが悪い 	
	日暮里ひろば館	<ul style="list-style-type: none"> ・敷地面積が624㎡しかなく、ふれあい館に必要な面積(敷地面積:約900㎡、延床面積:約2,000㎡、3階建て)を確保できない 	

これまでに住民の方々からいただいたご質問への回答

保育園・グループホームについて

	要望内容	対応・回答案
1	東日暮里サービスセンターの空きスペースを活用して保育園を整備すべき。東日暮里保育園130人分の移転も可能ではないか。	<ul style="list-style-type: none"> ・東日暮里サービスセンターは、後期高齢者の増加に対応するため、引き続き介護サービスの提供拠点として活用していく考えです。 ・東日暮里サービスセンターの3階は、民間の福祉作業所及び生活介護施設「ボンエルフ」に福祉的就労の場を提供するため、お貸ししており、空きスペースはありません。
2	ボンエルフはグループホームに併設できないのか。	<ul style="list-style-type: none"> ・新グループホームの建設予定地は、約280㎡の敷地面積で、建ぺい率等を考慮すると、延床面積は約600㎡程度までが限界になると想定しています。 ・新グループホームは、最低でも約500㎡の延床面積が必要です。 ・一方、東日暮里サービスセンター3階を利用しているボンエルフの延床面積は300㎡以上あり、新グループホームとの併設は困難です。
3	保育園やふれあい館の建て方について、向きや位置、大きさ等、できる限り詳細な図面にしてほしい。	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園については、今後行う公募により、社会福祉法人による整備を予定しているため、具体的な内容は、現時点でお示しできません。 なお、整備にあたっては、現在保育園を利用されている保護者や近隣住民からいただいたご意見、ご要望も踏まえ、実現可能なものは保育園の運営事業者の公募要項に反映させたいと考えております。 ・ふれあい館については、今後、基本設計・実施設計を行う予定ですので、現時点で図面をお示しすることは困難です。
4	児童遊園にある木は残してほしい。	<ul style="list-style-type: none"> ・全ての木を残すのは難しいと考えておりますが、木の大きさや位置等の状況も踏まえて、保育園の運営事業者の公募要項に記載するなど、少しでも木を残せるよう検討いたします。
5	園庭やホールを地域に開放してほしい。	<ul style="list-style-type: none"> ・園庭の開放については、保育園の運営事業者の公募要項に記載するなど、出来る限り調整を図ります。ホールの開放については、園児の安全性や衛生管理などの面から難しいと考えておりますが、保育園の運営事業者とも協議しながら検討いたします。

6	防音対策はどうするのか。	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園舎に防音壁や二重サッシなどの防音対策や、園児が園庭で遊ぶ時間を工夫するなど、可能な限り近隣の方への影響が少なくなるよう事業者とも協議しながら検討いたします。
---	--------------	--

ふれあい館について

7	保育園やふれあい館の建て方について、向きや位置、大きさ等、できる限り詳細な図面にしてほしい。	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園については、今後行う公募により、社会福祉法人による整備を予定しているため、具体的な内容は、現時点でお示しできません。 なお、整備にあたっては、現在保育園を利用されている保護者や近隣住民からいただいたご意見、ご要望も検討し、実現可能なものは公募要項に反映させたいと考えております。 ・ふれあい館については、今後、基本設計・実施設計を行う予定ですので、現時点で図面をお示しすることは困難です。
---	--	---

ピアホームについて

8	通常、マンションは60年は使えるはず。築45年のピアホームを外にエレベーターをつけるなど改装し、認知症デイサービスと0～2歳の保育園とする。	<ul style="list-style-type: none"> ・ピアホームは、バリアフリー化がされていないこと及び老朽化が進んでいることから、区では多額の費用をかけて、現在の建物を改修し、使う考えはありません。 ・また、認知症対応型通所介護（認知デイ）は利用率が約2割強と低く、サービス縮小や施設の集約、他の介護サービスへの転換等を検討しており、新たに認知デイを始める考えはありません。
---	--	---

幼稚園について

9	区立幼稚園に空きがあるから、預かり保育も実施してほしい。	<ul style="list-style-type: none"> ・区立幼稚園において、幼児教育のさらなる充実を図るため、預かり保育を実施するよう検討しております。
---	------------------------------	---

児童遊園について

10	日暮里地域に公園、児童遊園が少ないのではないかと。	<ul style="list-style-type: none">・荒川区全体として、元々、公園、児童遊園は少ないため、増やす努力をしております。・今回の順次更新により、児童遊園が一時的にはなくなりますが、現在、解体を進めている真土小学校の跡地について、三河島駅前北地区再開発事業に着手するまでの間、暫定的に広場状に整備し、子ども達の遊び場等として使用できないか、検討してまいります。また、その他の場所についても、講演、児童遊園の確保に向けて努力してまいりたいと考えております。
----	---------------------------	---

その他

11	日暮里地域の人口動態を把握しているのか。	<ul style="list-style-type: none">・区では、平成27年度末に策定した『荒川区人口ビジョン』において、45年後の2060年までの人口推計を行っています。本ビジョンの中で、人口の増加により、2060年時点で約23万人になると想定しています。・日暮里地域においても、2060年時点で、現在より約8千人増えると見込んでいます。特に、0～5歳については、2025年に向けて増加し、6～14歳については、2030年に向けて増加する見込みです。その後は、それぞれ一旦、減少傾向に転じ、0～5歳は2040年から、6～14歳は2045年から再び増加傾向になります。
----	----------------------	---

